



夢風

YUMEKAZE

第126号（令和2年度 No.4）



みなさん、夢風によこそ。

早いもので、もう12月です。2020年は、誰にとっても忘れることのできない1年になることでしょう。思い出として笑って話せるよう、状況が好転することを願ってやみません。



「夢風」はWebページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



● 学校祭

11月5日（木）、「想造」をテーマに学校祭が行われました。

午前中は体育祭です。開会式で美術プランの2年生が制作した学校祭旗がお披露目され、ペガサスに見守られながら、青、橙、緑、紫、黄、赤の6団に分かれて優勝を目指して競いました。半日実施とコロナ対策のため、競技の精選や内容を変更して実施されました。新種目「しっぽとり」ではグラウンド内を走り回り、「8の字とび」では自分が縄に引っかかってしまわないようにというプレッシャーとも戦っているようでした。競技部門は橙団が優勝を勝ち取りました。



昼休みには、道の駅「どんぐりの里いなぶ」による、調理・栄養プランとの共同開発商品「五平モチーニ」「ミルクゼリー」「里芋コロッケ里ちゃん」の販売がありました。また、野外ステージで箏曲部、合唱部、吹奏楽部の発表も行われました。コロナ禍にあり、今年はコンクールや学校外での発表機会が減ってしまいましたが、開放的な中庭で日ごろの練習の成果を存分に発揮してくれました。ステージ発表の最後は、生徒会執行部と音楽プラン2年生の生徒が加わり、学校祭のテーマ曲、星野源の「アイデア」を披露しました。観客の中に口ずさむ姿も多くみられました。他の文化部はメディアホール等



で展示もしており、生徒は思い思いに昼休みを過ごしていました。





午後は再びグラウンドに出て、パフォーマンスや全校発表を実施しました。午後の企画は、室長を中心に生徒が立案し、進行から選曲までの構成を彼らが考えました。まず、学ランやセーラー服に

身を包んだ有志生徒が「つっぱることが男の～」でお馴染み「男の勲章」の曲に合わせてダンスを披露し、大いに盛り上がりました。パフォーマンスの後半は、団ごとのアピール合戦です。室長代表の3年生（右写真）が進行役となり、2団ずつの対戦形式で行われました。団長を先頭に各団の応援団員が入場すると、工夫を凝らした衣装や演出に歓声が上がり、時には笑いも起こりました。学校祭前には、3年生が1・2年生の教室を回って振付を指導したり、中庭で練習をしたり、限られた時間の中で団結力を高めていま



した。その甲斐あって、高校生らしいエネルギーに溢れたアピールをしてくれました。最後に桑田校長から緑団に特別賞が授与され、全校生徒で「T-EAST」の人文字を完成させて、生徒が主体となって作り上げた学校祭は幕を閉じました。



閉会後は、有志発表が野外ステージで実施され、8団体がダンスやバンド演奏などを披露しました。多くの生徒が学校に残り、歓声を送っていました。日が落ちていく中での発表には趣があり、学校祭の余韻に浸っていたようです。



● ユネスコスクール交流会

10月17日（土）、愛知県女性総合センター（ウィルあいち）で愛知県ユネスコスクール交流会が開催されました。交流会は、県内のユネスコスクールの支援とESD（持続可能な開発のための教育）活動の広がりを目指して毎年開催されています。

本校は、1年生の代表生徒6名が「産業社会と人間」の授業で行った「SDGsを知る新聞作り」の「世界の差別問題」をテーマにポスターセッションに参加しました。生徒からは「差別問題について関心をもってくれる人が増えることを望んでいます」という感想が聞かれました。他の参加校の地域性や特色あるESD活動を知り、とても刺激を受けた1日になりました。今後の活動にも生かしてくれることを期待しています。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO Associated Schools

豊田東高校は、ユネスコスクールに加盟し、

ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。